

外国語『英語コミュニケーションⅡ』シラバス

北海道常呂高等学校

学年	3	単位数	3	授業形態	習熟度別		
教科書 (出版社)	LANDMARK Fit English Communication II (啓林館)		副教材等 (出版社)	フェイスバリット 英単語・熟語(テーマ別) コーパス 3000 4th Edition(東京書籍)			
学習目標	【到達目標】外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。						
	ア 日常的・社会的な話題について、話す速さや、使用する語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。						
	イ 日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。						
	ウ 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく伝え合うやり取りを続けることができる。						
	エ 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝えることができる。						
オ	日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や自身の考えを論理性に注意して複数の段落を用いて、文章で書いて伝えることができる。						
学習方法	4 技能 5 領域	【話すこと（やりとり）】ペアやグループで会話する機会がたくさんあります。互いに助け合い各活動に取り組みましょう。					
		【話すこと（発表）】グループ内やクラスの前で自身の考えを発表する機会があります。しっかりと準備をして臨みましょう。					
		【書くこと】授業中や週末には教科書の内容や自分の意見について英作文を行いクラス内で共有し、互いに学び合う活動を行います。					
		【聞くこと】授業内では英語での日常的な質問がされます。主体的に活動に取り組みましょう。					
		【読むこと】概要理解のため様々な形式の英文を読みます。構造を意識し英文を読みましょう。					
学習評価	評価の観点		評 価 の 観 点 の 趣 旨				
	ア	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる。				
	イ	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。				
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。				
評価方法	①	②	③	④	⑤	⑥	
観点	単元考査	実力考査	パフォーマンス テスト	小テスト	授業内課題	提出物	
ア	○	○	○	○	○		
イ	○	○	○	○	○		
ウ			○		○	○	

学習計画

学期	編・章	単元	学習内容	評価の観点			評価基準	評価方法
				ア	イ	ウ		
前期中間	2年次の復習		2年次に復習した文法・表現読解内容の復習	○	○	○	学習した内容や表現を用いて文章内容の説明をすることができる。	①③④ ⑤⑥
	前期中間PT		(1)インタビューテスト (2)ライティングテスト	○	○	○	自分の関心事について、自分の意見を加えて発表し、あらすじや要点を順序立てて伝えることができる。聴衆からの質問に対して、相手が理解できるように答えることができる。	③⑤
前期期末	Lesson 6	Edo: A Sustainable Society	歴史・生活・環境 「江戸時代のSDGs」 (文法事項) 関係代名詞【前置詞】 使役動詞【have】 助動詞+完了形	○	○	○	文の内容を理解し、SDGs に関する基本的な情報を伝え、簡単な意見交換をすることができる。 学習した表現を用いて、ある時代の文化や特徴を50語程度で書くことができる。	①②③ ④⑤⑥
	Lesson 7	Biologiesel Adenture: From Global to Global	環境・冒険・生き方 「バイオマスカーの環境に優しい冒険」 (文法事項) 強調構文 完了形の分詞構文 複合関係副詞 部分否定	○	○	○	文章の内容を理解し、バイオマスなどの環境に関連した情報について伝えることができる。 学習した表現を用いて、持続可能な社会の為に出来ることを50語程度で書くことができる。	①②③ ④⑤⑥

	前期期末 P T		プレゼンテーション	○	○	○	(1)まとまりのある文章の音読、内容に関する質問、自身に関する質問に英語で答える。 (2)身近なことがらについて理由を付けて自分の意見を書く。	③⑤
後 期 中 間	Lesson 8	Our Future with AI	科学技術・共生・未来 「AIが私達の未来にもたらすこと」 (文法事項) 仮定法過去【withoutなど】 仮定法過去完了 関係代名詞【文や節,which】 as if【仮定法】	○	○	○	文章の内容を理解し、テクノロジーや未来について想像し、意見交換ができる。 学習した表現を用いて、未来の世界について自身の予想交えて、50語程度で書くことができる。	①③④ ⑤⑥
	Optional Lesson 1	Language Change over Time	言語・歴史(プレゼンテーション) 「変わりゆく言葉」	○	○	○	プレゼンテーションについて理解し、自身の表現に反映することができる。 視覚的補助を利用しながら、あらかじめ準備をして学習した内容を用いて、決められたテーマについて相手に伝えることができる。	①②③ ④⑤⑥
	後期中間 P T		(1)インタビューテスト (2)ライティングテスト	○	○	○	(1)まとまりのある文章の音読、内容に関する質問、自身に関する質問に英語で答えることができる。 (2)身近なことがらについて理由を付けて自分の意見を書くことができる。	③⑤
後 期 期 末	Optional Lesson 2	Letters from a Bttle filed	戦争・平和・家族愛 「戦場から届いたメッセージ」	○	○	○	手紙を読み、その人物の行動や考えの要点を理解することができる。 学んだ表現を用いて、自分の関心のある具体的なトピック（著名人や歴史的事実）について、意見を表明することができる。	①②③ ④⑤⑥
	Original Program	Our Town in Our Words	課題解決型プロジェクト 「伝えよう、わがまち」 英語で実施するアンケート調査 調査結果の分析 プレゼンテーション資料の作成・発表	○	○	○	文献調査やアンケート分析の結果を用いて、自分の住むまちの文化や特徴を学び、より良いまちになる提言を学んだ表現を用い発表できる。	③⑤

授業に必要な道具などについて

- ・授業用ノートまたはルーズリーフ（授業で学んだことを書きましょう。）
- ・授業用ファイル（ワークシートや配付資料等をはさみましょう。）
- ・Chromebookなどのタブレット